

熊本地震を忘れないために

11月19日（日）町内各地で総合防災訓練が行われました。

同訓練は、熊本地震を教訓として、大雨や台風、地震などの自然災害に迅速に対応できるように日ごろから備えるため、町が主催。甲佐町消防団や各自主防災組織などが参加し、町内各地でさまざまな訓練に取り組みました。



1. 有安区で行われた搬送訓練 2. 西寒野区で行われた消火訓練 3. 西寒野区で行われた炊き出し訓練 4. 緑町区で行われた防災講話 5. 町職員に防災講演を行った竹中裕希子教授 6. 町職員が避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」を実施

■甲佐町総合防災訓練

11月19日（日）町内各地で甲佐町総合防災訓練が実施されました。

同訓練は午前8時に震度5強の地震が発生したという想定で実施され、防災行政無線での訓練放送と同時に各地で訓練がスタートしました。

西寒野区では避難訓練後、炊き出しや消防団と共同による初期消火などの訓練を実施。緑町区では、炊き出し訓練や防災研修をなどを実施し、（株）ワーキングルームの畑中裕子さん

が、「避難行動要支援者名簿の活用に係る行政区（地域防災組織）との更なる連携について」と題し講演しました。

町生涯学習センターでは、熊本大学大学院先端科学研究所（工学系）の竹内裕希子教授が講演。平成28年熊本地震の避難所運営について振り返った後、町職員が避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」を行い、実際に自分たちが避難所を運営する立場として、避難してきた人の配置や手当て、突然起こる事態などへの対応を考えました。

早めの避難、事前の準備を

くらし安全推進室
永井 恒一 室長

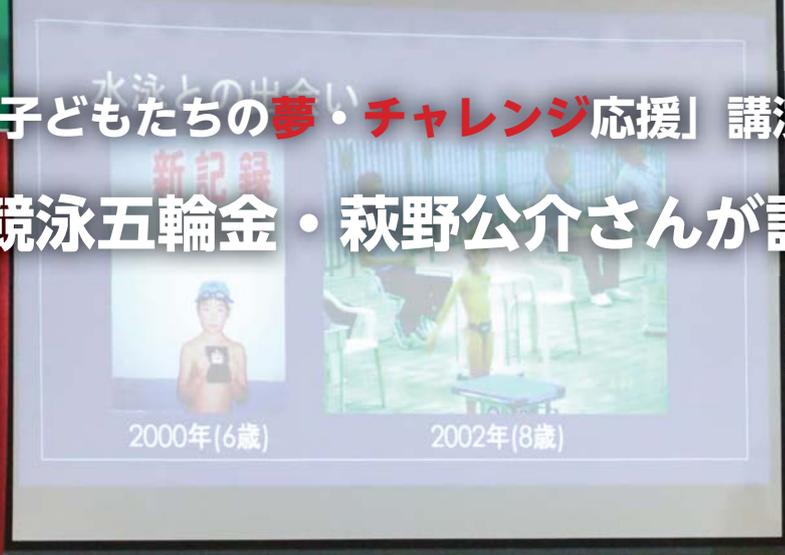


いつどこで災害に遭うか分かりません。事前に避難場所・避難経路などの情報を家族と共有しておきましょう。

地域コミュニティでの防災力（自助・共助）には防災士の力が必要です。町では、防災士の育成や自主防災組織の活動の支援を行っています。皆さんも地域で実施される防災訓練などに積極的に参加して防災力を高めましょう。



「子どもたちの夢・チャレンジ応援」講演会 競泳五輪金・萩野公介さんが講演



・目標を持つことの大切さ
競泳オリスト
萩野公介さん



プロフィール 萩野公介

はぎのこうすけ 1994年生まれ。生後6か月から水泳を始める。小学校低学年から学童新を更新し、中学以降も各年代の新記録を樹立。17歳で初出場となったロンドンオリンピックでは400m個人メドレーで銅メダルを獲得。2016年リオデジャネイロオリンピックでは400m個人メドレーで金メダルなど計3つのメダルを獲得。



辛い経験や困難を 今後の糧に

甲佐中3年
本田 結羽 さん

今回の講演では、過程や多くの経験をすることの大切さを学ぶことができました。辛い時や困難にぶつかったときは、萩野さんの「苦しい経験はみんなの一部。その経験は将来、自分のためになる」という言葉を思い出して今後の糧にしていきたいです。自分で決めた夢に向かって、「今」を全力で生きていきたいと思います。

11月6日(月)甲佐中学校体育館で「子どもたちの夢・チャレンジ応援」講演会が開催されました。

同講演会は第一線で活躍する著名人が夢の実現や困難へのチャレンジを続けてきた経験を小中学生に直接伝えることで、子どもたちの夢の実現に向けて取り組む意欲や力を育み、子どもの夢やチャレンジを応援する保護者への子育て・家庭教育の支援を図る目的で町が主催。競泳五輪金メダリストの萩野公介さんが子どもたちに夢や目標への努力について話しました。

参加した生徒は町内の小学5、6年生と中学生約500人。各学校の別室では保護者向けにオンラインで講演の様子が流されました。

萩野さんは「夢という目標は自分で決めるものです。夢に至るまでの経験は苦しいものも含めてすべて自分の力になるので、それまでの過程を大切にしてほしい」と話しました。

